

報道関係各位

2025年3月18日

～新庄小学校の思い出を未来へつなぐ～
北広島町×広島工業大学 包括的連携協定プロジェクト
新庄小学校閉校記念品制作

学校法人鶴学園 広島工業大学（所在地：広島市佐伯区三宅 2-1-1）は、包括的連携協定を締結している北広島町とともに、さまざまな取り組みを行っています。その一環として、本学建築デザイン学科・森田ゼミでは、今年廃校となる新庄小学校の閉校に向け、本学の学生が木材を使った記念品を制作し、贈るプロジェクトを実施しました。

この記念品は、2025年3月25日に開催される新庄小学校閉校記念「感謝の会」にて、在校生（1～6年生）全員に贈呈されます。

■目的

本学建築デザイン学科・森田ゼミは、新庄小学校の閉校を迎えるにあたり、北広島町の有志の方々とともに、児童たちの思い出に残る記念品を贈るプロジェクトを2024年11月に立ち上げました。

北広島町の関係者と定期的にオンライン会議を重ねながら、ゼミ学生4名が企画・デザインを担当。『新庄小学校に集う最後の日を、児童にとって特別な思い出の日にしたい』という想いを込めて、学生主体で進めているプロジェクトです。

■記念品「木製キーホルダー」について

今回の記念品として、葉っぱ型の「木製キーホルダー」を制作しました。このプロジェクトのポイントは、学生が作るのではなく、児童自身が仕上げるという体験型のプロセスにあります。学生が木材を使う意義についてレクチャーした後、2025年3月10日に小学生が自らキーホルダーを切り出し、研磨し、穴を開けて完成させました。今後、塗装を施しストラップを付けて、3月25日に児童へ贈られる予定です。

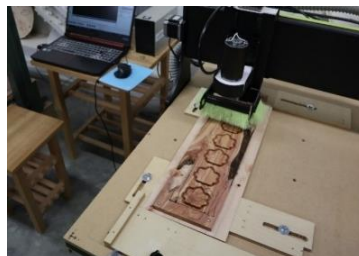
また、このキーホルダーには特別な仕掛けがあります。児童全員に配布される5cmの葉っぱ型キーホルダーを収める樹木のベースを別途制作しました。このベースには、『いつか卒業生が新庄小学校に集まり、それぞれのキーホルダーをはめ込むことで、1本の立派な樹木が完成する』という願いが込められています。卒業後も、このキーホルダーが子どもたちをつなぐ象徴となり、新庄小学校での思い出を未来へと受け継いでいくことを願っています。



3月10日に新庄小学校で実施したレクチャーとワークショップ（キーホルダー制作）の様子

■新庄小学校閉校記念「感謝の会」概要

1. 日 時 2025年3月25日(火)
【第1部】15:00～17:00
【第2部】17:00～20:00



大学でのキーホルダー加工の様子

2. 場 所 北広島町立新庄小学校
(広島県山県郡北広島町新庄 3497)

3. プログラム 【第1部】

- 15:00 開会あいさつ(森田委員長)
15:10 新庄小学校児童による伝統芸能発表「南条おどり」
児童代表あいさつ
15:15 動画上映「150周年のあゆみ」
15:20 新庄小学校児童による伝統芸能発表「新庄のはやし田」
児童副代表あいさつ
15:50 新庄学園友情出演(吹奏楽部、書道部)
16:30 校歌斉唱



完成した樹木ベース

【第2部】

- 17:00 感謝の会(乾杯発声)
17:05 思い出スピーチ
17:20 郷の崎神楽団「演目:ヤマタノオロチ」
18:00 余興(合唱、ダンスなど)
20:00 写真撮影

4. 取材について 本学建築デザイン学科の学生による記念品贈呈式は、第1部の15:50頃に新庄小学校の教室内で実施予定です。
また、本学学生および森田教授へのインタビューも可能です。
取材をご希望の方は、3月24日(月)17:00までに、以下の申込み先までご連絡をお願いいたします。

内容に関する各種お問合せ	TEL: 082-921-9134 (直通) h.morita.dk@it-hiroshima.ac.jp 担当: 建築デザイン学科 教授 森田秀樹
取材に関する各種お問合せ (取材の申し込み先)	TEL: 082-921-3128 (直通) FAX: 082-921-8946 担当: 広報部 石田 E-mail: kouhou@tsuru-gakuen.ac.jp